各 位

平成 19年 11月 9日



会 社 名 岩崎通信機株式会社

代表者名 代表取締役社長 社長執行役員

二村 裕治

(コード番号 6704 東証第一部) 問合せ先 取締役 執行役員

大工原 博

TEL (03) 5370 - 5111

業績予想の修正のお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19年 8月 31日に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日~平成20年3月31日)(中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成20年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 9月 30日)

(1)単 独

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 8月 31日 発表)	12,200	420	440	490
今回修正予想(B)	11,333	426	433	139
増減額(B - A)	867	6	7	351
増減率	7.1			
前期(平成19年3月期中間)実績	12,754	184	78	103

(2)連 結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 8月 31日 発表)	17,200	520	680	710
今回修正予想(B)	16,426	503	637	1,067
増減額(B - A)	774	17	43	357
増減率	4.5			50.2
前期(平成19年3月期中間)実績	17,674	381	373	575

2. 平成20年 3月期通期業績予想数値の修正(平成 19年 4月 1日 ~ 平成 20年 3月 31日)

(1)単 独

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 8月 31日 発表)	26,200	150	0	100
今回修正予想(B)	25,000	10	10	250
増減額(B - A)	1,200	160	10	350
増減率	4.5			
前期(平成19年3月期)実績	26,883	41	220	14

(2)連 結

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 19年 8月 31日 発表)	36,200	50	200	1,000
今回修正予想(B)	36,000	50	170	1,400
増減額(B - A)	200	0	30	400
増減率	0.5	0.0		40.0
前期(平成19年3月期)実績	37,169	257	226	711

3.業績予想修正の理由

(1)平成20年 3月期中間業績予想数値の修正

単 独

売上高につきましては、主力の情報通信事業と電子製版機事業が共に前回見通しより減少いたしました。これらにより、全体では113億円(前回見通し比9億円減)となりました。利益面につきましては、諸費用の圧縮を強力に進めました結果、売上高は減少したものの、営業損益は4億2千6百万円の損失(前回見通し4億2千万円の損失)、経常損益は4億3千3百万円の損失(同4億4千万円の損失)とほぼ前回見通しとおりとなっております。さらに、当中間純損益では、前回見通し時に想定した法人税等の発生が減少し、また、繰延税金資産繰入の計上もあり、1億3千9百万円の損失(同4億9千万円の損失)と大幅な改善となっております。

連結

連結売上高につきましても、単独の減少により、連結売上高は164億円(前回見通し比8億円減)となりました。利益面につきましては、子会社の損益状況がほぼ見込み通りとなったため、連結ベースでは、営業損益は5億3百万円の損失(前回見通し5億2千万円の損失)、経常損益は6億3千7百万円の損失(同6億8千万円の損失)と単独損益と同様にほぼ前回見通しのとおりであり、また、当中間純損益でも、単独の変化に伴い10億6千7百万円の利益(同7億1千万円の利益)となっております。

(2) 平成20年 3月期通期業績予想数値について

単 油

売上高につきましては、主力の国内市販向け中小型オフィスコミュニケーションシステムの本格的需要回復は遅れるものと想定し、前回見通し比12億円減の250億円といたしました。利益面につきましては、売上高の減少による損益悪化はあるものの、上半期末の財務体質改善施策による改善効果および固定費の圧縮を強力に推進し、営業損益は1千万円の利益(前回見通し1億5千万円の損失)、経常損益も1千万円の利益(同収支均衡)、当期純損益は2億5千万円の利益(同1億円の損失)を予定しております。

連結

売上高につきましては、単独の悪化はありますが子会社の売上増等もあり、前回見通し比2億円減の360億円の見込みであります。利益面につきましても、主として単独の業績変化に伴い、営業損益は5千万円の利益、経常損益は1億7千万円の損失と前回見通しのとおりであり、また、当期純損益は14億円の利益(前回見通し10億円の利益)と上期改善分の増益を予定しております。

以上

<業績予想に関する注意事項>

当資料に記載されている業績見通しおよび将来の予想に関する記述は、当社および当社グループにおいて現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、これら業績予想と大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。